

動物実験に関する現況調査票

産業医科大学

2021年4月

I. 動物実験に関する組織

機関長	職名：学長 氏名：尾辻 豊		
事務担当者	職名：大学事務部研究支援課課長代理 氏名：三谷 紀世美		
同 連絡先	TEL:093-280-0532	FAX:093-691-7518	e-mail kmitani@pub.uoeh-u.ac.jp
動物実験委員会	職名	氏名	カテゴリー*
委員長	医学部 教授	高橋 富美	①
委員	医学部 教授	中村 元信	①
委員	医学部 教授	佐藤 寛晃	①
委員	医学部 教授	森 誠之	③
委員	産業生態科学研究所 教授	岡崎 龍史	①
委員	教育研究支援施設 教授	宮田 博規	②
委員	産業保健学部 講師	田中 晋	①

委員の数に応じて、表の行を増やしてください。

動物実験委員会のカテゴリー欄*には基本指針で定められた以下の委員構成の番号を記入して下さい。該当がない場合には空欄にしておいてください。

- ① 動物実験等に関して優れた識見を有する者
- ② 実験動物に関して優れた識見を有する者
- ③ その他、学識経験を有する者

II. 機関における動物実験の概要

1. 動物実験を行う主たる研究分野

- 医歯薬学分野
- 畜産・獣医学分野
- 生物科学分野
- 理工学分野
- その他 ()

2. 年度ごとに使用・飼養した実験動物の種類と概数

動物種	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数
マウス	20,317	5,579	18,559	7,366	18,231	5,284	21,516	5,993	18,638	6,138
ラット	6,183	851	5,273	967	4,304	936	4,436	904	4,059	1,066
ウサギ	32	7	10	6	0	5	2	5	0	3
モルモット	13	1	4	1	9	1	11	1	0	0
ハムスター	66	11	215	284	143	11	99	11	82	3

(令和3年 3月 31日現在)

3. 年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度
	186件	202件	211件	200件	231件

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

教育訓練受講者数	28年度	29年度	30年度	元年度	令和2年度
	208人	201人	175人	167人	274人

5. 実験動物飼養保管施設(施設)の現況

施設の総数：	3箇所	施設の総延べ床面積**：	
		<input type="checkbox"/> 300㎡未満	<input checked="" type="checkbox"/> 300㎡以上

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名(関連資格・経過年数)	動物種	最大飼養頭数(概数)
教育研究支援施設動物研究センター	教授・佐藤 寛晃	教授・宮田 博規 (実験動物医学専門医、獣医師、農学博士、20年)	マウス ラット ハムスター モルモット ウサギ ネコ サル	31,750 2,592 216 90 30 15 18
教育研究支援施設アイソトープ研究センター、動物飼育室	教授・青木 隆敏	教授・馬田 敏幸 (医学博士、18年)	マウス ラット ハムスター モルモット	1,080 120 96 30
産業生態科学研究所 吸入曝露室	教授・森本 泰夫	教授・東 秀憲 (工学博士、1年)	ラット	240

施設の所在地

所在地	施設の名称
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1	教育研究支援施設動物研究センター
同上	教育研究支援施設アイソトープ研究センター、動物飼育室
同上	産業生態科学研究所、吸入曝露室

6. 動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所 (URL) :

<https://www.uoeh-u.ac.jp/industryCo/kenkyu/jikken.html>

7. 国立大学法人動物実験施設協議会又は公私立大学実験動物施設協議会入会の有無

 国立大学法人動物実験施設協議会会員 公私立大学実験動物施設協議会会員 (会員番号: 12-096) その他(上記の会員ではない)

公私立大学実験動物施設協議会会員の場合は会員番号を記入ください。

8. 自己点検・評価報告書の作成に際して自己点検・評価事項チェック票での確認

URL: <http://www.m-kenshou.org/> 行った

9. 特記事項

(動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情)

本学の組織は、医学部、産業保健学部、大学院医学研究科、産業生態科学研究所、教育研究支援施設 (図書館、共同利用研究センター、動物研究センター、アイソトープ研究センター)、産業医科大学病院、産業医科大学若松病院、産業医実務研修センターおよび産学連携・知的財産本部から構成されている。このうち実験動物飼養保管施設は、教育研究支援施設内の動物研究センターおよびアイソトープ研究センター、産業生態科学研究所の吸入曝露室である。主たる動物実験は動物研究センター内で行われている。アイソトープ研究センター内の動物飼育室および産業生態科学研究所の吸入曝露室は、産業医学研究に不可欠な動物実験設備であり本学の特徴ある研究設備の一つである。